

スイーツバイキング



2月のイベント バレンタインと国府宮はだか祭り

2月は、バレンタインのイベントと、毎年恒例のはだか祭りがありました。バレンタインは、今まであまり行っていなかったイベントですが、コロナ禍にあり、季節のイベントを企画する中でやってみると、お年寄りに大変喜んでいただけました。コロナにならなければ分からない発見もありました。
お年寄りに季節の移り変わりを感じていただくためにも、これからも季節の行事は大切にしていきます。



すずの郷新聞 第114号

お年寄りの皆さんへ『ありがとう』の気持ちを込めて、ケーキバイキングを行いました。お菓子作りが得意なスタッフが手作りスイーツを作り、沢山のケーキが完成し、スペシャルなバレンタインとなりました。
お好きなケーキをお好きなだけ食べていただきました。中には、お皿に取る間もなく、目の前のケーキを食べようとされるお年寄りもみえました。多い人は、ケーキ全種類を召し上がられ、その顔はとても幸せそうでした。口にクリームやチョコがついていても気にせず美味しそうに食べておられる姿を見て、企画して良かったなと思いました。お年寄りが笑顔になれるイベントをこれからもたくさん企画していきます。
(青山めぐみ)



義歯チョコ!? 作り

「義理チョコ」ならぬ「義歯チョコ」を作りました。1cm程の小さなマシュマロを歯の形に並べ、ピンク色のストロベリーチョコで歯茎を作り義歯チョコの完成!!「たまにはこういうこともしないと」と細かい作業でしたが、楽しみながら手指の運動ができました。
完成に近づくにつれ「本物みたい!」「気持ちわりい〜」など様々な歓声がわき起こり、大笑いの時間になりました。出来上がったチョコレートは男性スタッフへ愛をこめてプレゼント。
皆様、来年のバレンタインに「義歯チョコ」はいかがですか?
(三輪智恵美)

施設長のひまわり
日中の暖かさも増し、日差し心地よい季節となりました。地域のお祭り、チョコ作りなどの催しを楽しんでいただくとともに、趣味や特技など、もう一度、主役となって輝いていただければ、お時間を作ってまいります。



なおい笹を見送られた皆さんの感想

森本治郎さん (市松)
今年のはだか男がいなかったから、来年はずすの郷代表で、はだか男で出ようかな〜(笑)

青山壽子さん (麻薬)
寒い中来てくれて、ありがたかった。勇ましく送りがたかった。大きき声で「わっしょい」って言ったよ。

杉浦弘明さん (矢絰)
毎年楽しみにしています。今年は来てもらえるか心配していたけど、来てもらえてよかった。振る舞いのお酒が美味しかった。もっと飲みたかったな〜(笑)

国府宮はだか祭り

今年は、はだか男たちの揉み合いのない異例のはだか祭りでしたが、はだか祭り当日には、法花寺奉賛会さんにより、笹の奉納をしていただきました。
お年寄りの皆さんは寒い中、外に出て笹のお見送りをされました。

今月のベストショット
満開の梅の花を見にお散歩へ出掛けました。歩いて20分。少し汗ばむくらいです。山田貞一さんは車椅子を押しながらゆっくりとお散歩を楽しまれ、政田政子さんは矢合の梅を満喫されました。



山田貞一さん すずの郷での 活躍

2019年5月に入居された山田貞一さん。すずの郷に入居されてまもなく2年となりますが、入居された当初は、ご自宅の事が気になり、心配だと話されることもありました。コロナが流行する前は、定期的にご自宅に帰って、お家の中や、外のお庭をじっくり見たり、娘さんとお出掛けをされ、ご家族と過ごされる時間を大切にされていました。

徐々にすずの郷での生活にも慣れ現在では、イベント開催時には外仕事のテント建てや、炭おこし、サンマを焼いたり大活躍をされている貞一さんです。貞一さんは『THEお父さん』という貫禄で「俺は監督だ」と皆のお父さんのように見守って下さっています。最近では、スタッフと一緒に人生初体験と思われるお菓子作りを笑顔で手伝って下さったり、日頃のお料理も楽しそうに手伝って下さいます。

これからは、貞一さんの得意な日曜大工もお願いするなど、すずの郷で益々大活躍していただきたいと思うと同時に、日々のお手伝いにも感謝致しています。ありがとうございます。(木野哲矢)



いろいろな場面で活躍の貞一さん
これからも宜しく
お願いします

福田紀美子さん すずの郷での生活

昨年12月に入居された福田紀美子さんは、すずの郷の生活をスタートして3か月が経ちました。「ここ(すずの郷)はええなー」「ここに来てよかった」口癖のようにおっしゃってください、そのお言葉は私達スタッフの励みとなっています。今回は紀美子さんに「すずの郷に来て」と題してここでの生活を綴っていただきました。～以下は紀美子さんご自身の寄稿文です～

私は大正13年に生まれ今日まで生きていることに感謝し、毎日を楽しく過ごしています。すずの郷の生活は一日があつという間に過ぎます。マスク作りやフルーツ飴づくり、バレンタインのチョコ作りなどに参加して色々な体験ができます。スタッフの皆さんは私にとって孫のようで、何でも気さくに話せます。おしゃべりが好きな私にとって自由になんでも話せることは何よりも安心です。3月1日初めて矢合の梅を見に行きました。観音様に手を合わせ、こんな嬉しいことはありません。皆さんにお世話になって、私は最期までここで過ごすことを心に決めました。どうぞよろしくお願います。
～福田紀美子～

「私の最期の場所はここに決めました」との紀美子さんの人生最大の壮大な決意に私たちも応えるべく、その想いを共にしました。だからこそ紀美子さんの「今」を大切に、笑って過ごせるような毎日を、明るく過ごしていきたいです。(濱嶋いづみ)



仲良しのすずちゃんと一緒に
17mの恵方巻作り

義歯チョコ作りにて
作ったチョコを
スタッフに
プレゼント



なんでも売ってる なんでも屋 月回の オープン

外出自粛中で「お買い物に行けなくて楽しみがないわぁ」とお年寄りからの声があり、月一回オープンするお店を始めました。お菓子、お饅頭、梅干し、バナナやイチゴ、靴下などの衣料品まで、皆さんの好きな物を揃えて販売する『なんでも屋さん』です。開店と同時に「お買い物好きの皆さんが集まって来て、それぞれ品物を手に取り、会話が弾みました。「ふりかけが欲しかったんだわー、買います!」と森文子さん。「お菓子がもっと欲しいわね」と青山壽子さん。男性からは「次はお酒のつまみ用意してね」との声も聞かれました。お年寄りの皆さんのご要望の品々、季節の果物など取り揃えて、これからも楽しんでいけるお店にしたいと思っています。(鈴木純子)

